2023年5月1日　－　つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう　－　第652号（1）

音楽運動

日本音楽協議会　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町３丁目10-15 富士ビル505号室　発行人　松本敏之
TEL 03-3221-1821　FAX 03-6369-3057　URL http://nichionkyou.org　Email nichion@yomogi.or.jp

長岡音楽祭 来月です

54音楽祭申し込み状況
（ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ）With Caution Band
（ｹﾞｽﾄ）劇団 blue ジーンズ
ししの子
シングルトリオ
Periodista
林音協
日音協長野県支部
ローカル線
（ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ）塚本茂子
日音協新潟県支部
ういみん
Rico ＆ Tatsu
日音協福島県支部
村上幸子と生きる会
新潟県職労
日音協秋田県支部
日本私鉄労働組合総連合会
日音協岩手県支部
日音協東京都支部
日音協茨城県支部
日音協九州支部
自治労音楽協議会
メイウィンズ
日音協沖縄県支部
日音協香川県支部
日音協富山県支部
合唱団ミール
日音協青森県支部
（中央企画）若い会員の交流会
（中央企画）メーデー合唱団
東北北ブロック
ＦＭカンパニー
ブービーバンド
Kako ＆ Mika
パールライス
かたくり
ふらっと・しゃーぷ

応募は締め切りました。昨年より増、です。

スウィングセピアのファンファーレで開幕

今年の第94回連合メーデー中央大会も、メーデー合唱団はオープニングで歌うことができませんでした。昨年は、コロナ感染拡大防止対策が理由でしたが、今年は、会場となる代々木公園サッカー場全面に人工芝を養生したことにより、これまでの大型ステージの設置ができなくなったから、とのことで、開幕のファンファーレだけお願いされたという次第です。

そして本番の、4月29日(土)。スウィングセピアのファンファーレが、高らかに鳴り響き、第94回メーデー中央大会は開幕されました。が、実はマイクが用意されていないという不手際が土壇場で発覚し、生音でのファンファーレを余儀なくされたものの、強風の天候が幸いし、風が生音のファンファーレを運んでくれてなんとか会場内には響き渡ったというところでした。

来年こそは、合唱団の歌声とスウィングセピアの演奏とファンファーレが、スピーカーからの大音量で会場内外にひびきわたることを願いたいです。（坂口美日）

長岡でお待ちしてます②

皆さんお元気ですか。私は4月の配転で県立高校職場に移り、初めてのことばかりで苦戦しております。しかし時は留まることを知らず、音楽祭まで1か月余り。最後の詰めの時期に入りましたので、引き続きよろしくお願いします。今回は開催地や会場のことについての紹介です。

【地理や歴史のことなど】

長岡市は新潟県のほぼ真ん中辺りに位置する新潟県第2の都市です。平成の合併で、闘牛と錦鯉の山古志村、あぶらげと長尾景虎の栃尾市、レンコンと凧合戦の中之島町、直江兼続ゆかりの刃物の与板町、海と魚のアメ横の寺泊町、日本酒の和島村と三島町、そこに米菓を加える越路町、和紙の小国町と旧長岡市が一緒になり、現在の長岡市を形成しています。

旧長岡市の中央を流れる信濃川の源流は、山梨県の甲武信ケ岳。そこから長い旅をした水は日本海へと注ぎ、その両脇に越後平野が広がっています。長岡はその最南端で、川の東西にある丘陵では、縄文の昔から人々が居住していました。

この地は陸や川の交通の要衝で、室町時代の南北朝の争いでも激しい戦場となりました。幕末には討幕軍との交渉に決裂した長岡藩は奥羽列藩同盟に加盟し開戦、長岡城をめぐる3度の攻防で町は焼け野原となりました。

明治に入ると東山に油田が発見され、関連する掘削機械や鉄工所、製油産業等が発展します。しかし残念なことにこれらの工業力は、大陸進出を目論む明治政府によって日本の軍事力増強にも利用されていきます。

日中戦争が長期化し、太平洋戦争へ突入した日本は、戦争末期に米軍の空襲を各地で受けましたが、長岡もその一つです。1945年8月1日夜に投下された焼夷弾は、長岡の町を焼き尽くしました。

戦争で中断されていた花火大会は戦後復活し、この時に亡くなった方々の慰霊と復興への願いが込められています。そして2004年に発生した中越大地震後は震災復興の願いも加わり、超大型花火「フェニックス」はその象徴となっています。

オープニングで演奏する「届け　私たちの思い　歌にのせて」は、これらの歴史を踏まえた歌詞となっています。

【会場のことなど】

音楽祭の1日目夜に行われる全国交流会の会場は、長岡城跡に立つ「アオーレ長岡」。ここには長岡市役所の他、市民が活動できる交流スペースや会議室、アリーナが併設されています。また物産展やイベントで利用されている「ナカドマ」という半屋外スペースがあり、連日にぎわっています。長岡駅からはスカイデッキでつながっており、雨や雪の日でも濡れずに移動することができます。駅ビル「CoCoLo」の中には、ずらり並んだ地酒を販売しているぽんしゅ館というお店があり、試飲もできます。

音楽祭の会場であるリリックホールは、コンサートホールとシアターの他、大小全部で10のスタジオがあり、楽屋を含めて同一建物内で練習会場を十分に確保してありますので、天候に左右されず、それ程不便を感じないで利用していただけるものと思っています。

なお、全国交流会についてのお願いです。各地域支部や産別音協・サークル等の紹介をする時間を設けていますが、全体の進行の都合上、1団体3分以内でお願いいたします。

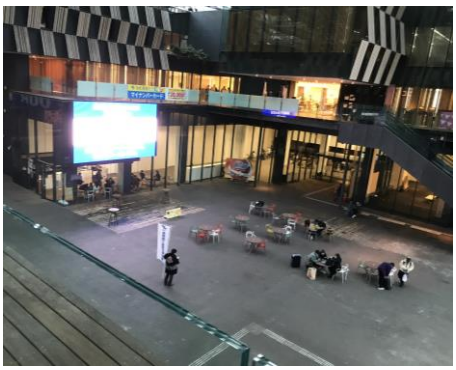
【最後に】

この原稿を書いている4月30日は、オープニング演奏の2回目の練習日でした。回数を重ねられないので技巧的なことはできませんが、参加者一同楽しく練習できています。演奏には色んな世代の方から参加していただいており、一人一人がそれぞれ持っている声、この多様な声が集まって「うた」で表現する反戦平和への思いを、会場で聞いている方だけでなく、世界中に届くことを願って心を込めて演奏いたします。

それではリリックホールでお会いしましょう。

日音協新潟県支部
事務局長　山本英二
（新潟県実行委員会事務局長）

オープニング演奏の練習してます



ナカドマ

スカイデッキ

ぽんしゅ館

北海道メーデーで演奏するよ

ＣＤ収録完了し　FMカンパニーが合宿行う

FM カンパニーは４月１４日に札幌市のとなり江別市にある「ペンション優」にて合宿を行った。６月の祭典に向けて各自創作曲を持ち寄り発表曲の選考をすることが目的である。また１年かけてレコーディングを終えたFMカンパニーのCDのジャケットやレーベルも最終確認されたのでその打ち上げも兼ねることになった。

参加者は男ばかり７人。残念な事に的場さんが合宿前に丸ノコで左人差し指をあわや切断かという事故を起こし大手術（ちょっと大袈裟か）となってしまったため、医師から禁酒を指導され、やむなく欠席となった。男ばかりで宴会の賄いがどうなるかと心配はしたが、まあ美味しい酒があれば問題ない。

「ペンション優」は１５人も泊まれるほど大きく、周りに住宅も無いことから夜間も遠慮なく延々と大演奏が繰り広げられた。居間にあるアンティークの古時計が壊れていて、本当に時間を忘れて騒ぎまくったが日付が変わる前には３人が就寝した。ここから３年ぶりの「何もかんもバンド」が復活だ。ギターを先頭に鍋や空き瓶を叩いては寝室を練り歩き、寝ている奴の耳もとでドンジャカ騒ぎ立てたのだが、飲みすぎて爆睡していてビクともしない。でも久しぶりのバンド復活に満足した。名曲「なんもかんもわすれて」は CD に収録されているのでぜひ皆さんも宴会のお開きの際に歌ってみてください。

さて、肝心の発表曲の方だが、合格点には至らず引き続きの創作を続けることとなった。

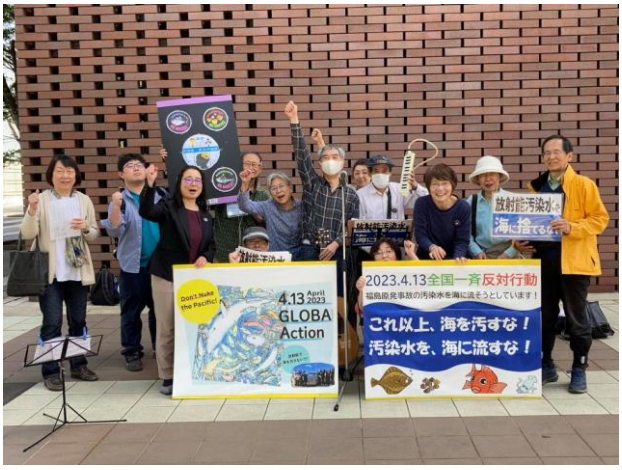
６月の祭典にはFMカンパニーのCDを持っていきますので待っていてください。

【追伸】５月１日の北海道メーデーでFMカンパニーが４年ぶりに前段演奏する事になった。久しぶりの大舞台で楽しみである。報告は次回に。（磯野宏之）

笠木さんも元気に参加

つくば市でスタンディング行動

これ以上、海を汚すな！ 汚染水を、海に流すな！



４月 13 日に、『これ以上海を汚すな！市民会議』の呼びかけに応えて、『これ以上海を汚すな！汚染水を海に流すな！スタンディング』を茨城県つくば市・つくば駅周辺で行いました。日音協茨城県支部の３人を含めて 15 人が参加しました。

スタンディングは 12 時にスタート。歌と県議会議員、市議会議員、認めますか？再稼働つくば市民会議のスピーチで進めました。

江崎文雄さんが今日のためにつくられた「海を汚すな！」を披露、また「一人の手」「フクシマをくり返すな」「あたりまえの地球」を歌いました。13 時過ぎにスタンディングを終了しました。

（松本敏之）

さまざまなドラマが繰り広げられた「ペンション優」

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話

第7弾《今、知ってほしい、はたらくものの音楽祭で、納得のいく演奏をするための話》

第５４回音楽祭開催まで、あと１ヶ月となりました。時間をやりくりしながらの練習に熱がはいってきたころではないでしょうか？

そして、練習を重ねて迎えるたった一回の発表を、少しでも納得のいく、悔いのないものにしていただきたい、ということが今回のテーマです。

特にリハーサルをしない演奏団体は必見です！

● 演奏スタート前

前の演奏団体が終わって、次の演奏団体の準備が終わるまでのインターバルは３分を基本とし、演奏者、楽器数の多い団体は４分としています。

短い時間ですが、以下を念頭に入れながらしっかり納得のいく演奏準備をしていただきたいと思います。

① 電子楽器（エレキギター、ベース、キーボード、電子ドラムなど）を演奏する方に先にステージに入っていただきますので、シールドを接続した後、必ず音を出して、中音といわれるアンプ・返しスピーカーのチェックしてください。返しの音が不足していたら、近くのステージスタッフに伝えるか、大きな声で直接 PA さんに伝えてください。外音（客席側スピーカーから出る音）を PA さんが調整します。

② 次に、その他の楽器を演奏する方に入っていただきます。ラインを接続する方も、マイクで音取りする方も、①と同様に必ず音のチェックをしてください。

③ 次にボーカル（歌い手）の方に入っていただきます。マイクは、ステージスタッフが歌い手の方に高さを合わせて置いていくことになっていますが、感覚には個人差がありますから、合わないと感じた場合は自分で調整してください。

マイクがはいっていないという心配はほぼありませんが、 不安でしたら声を出して確認してください。（マイクのヘッド部分に息を吹きつける、叩く、爪を立てる、はNG行為です。）

● 演奏スタート直後

演奏を始めてから、返しの音が聴こえない、あるいは大きすぎる、楽器にマイクがあたっていない等々。このまま演奏を続行することに支障を感じた時は、躊躇せずに手をあげ演奏を中止し、声をあげてください。そして、演奏を最初からやり直してください。２曲目の発表曲の演奏形態が大きく違う場合も同様です。ただし、これができるのは演奏スタート直後です。演奏も半ばを過ぎてからの中止とやり直しは、お控えいただくようお願いします。　（坂口美日）

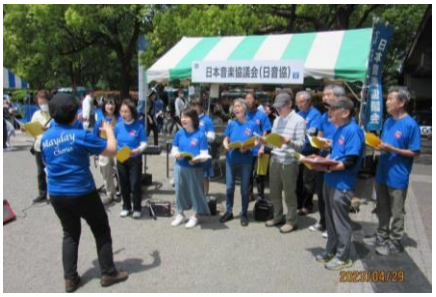
テント前コンサートを開催

４月29日（土）、代々木公園において、メーデー中央大会が開催されました。風が強く、砂ぼこりも楽譜も舞い飛ぶ代々木公園。今年は久しぶりに飲食も解禁、キッチンカーも出ていて、その飲食休憩スペースに向かう形で設置された日音協ブースで、テント前コンサートを行いました。

出演は６団体。メーデー合唱団、メイウィンズ、ＣＡＮＴＳ、狭石啓子、Piggies、ういみん、です。

飲食可にはなっても、式典後、参加者がどのくらい会場内に残っているのか不安でしたが、どのブースも賑わいが続き、まさに労働者のお祭り。私たちの前でも、立ち止まって耳を傾けるひと、飲食スペースからこちらをずっと見て聴いているひと、カメラを向けて撮影するひと…演奏の後は拍手が起こり、あたたかい雰囲気を感じました。出演各団体ともそれぞれに聴きごたえがあり、コンサート全体としても、充実したものになったと思います。

コンサートの最後はみんなで歌おうコーナー。ぶっつけで挑戦した『武器を捨てて』の合唱は、歌う側も楽しい曲。締めの曲は『大きな橋』。平和を求める思いを込めて、コンサートを終えました。　（森理子）



メーデー合唱団

メイウィンズ

ういみん

Piggies

狭石啓子

CANTS

2023日音協SONGを募集します

日音協は、「みずからを表現する運動」「つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう、四つの活動」として、一貫して創作を重視し、創作活動を推進するために毎年日音協ソングの募集と選考、紹介をしてきました。日音協のみずからを表現する運動の重要な柱である創作を推進するために、日音協ソング 2023 を募集します。選考委員会を構成し、応募曲の中から全国に広めたいうたを選考し、歌集、ホームページ、音楽祭などで広めます。６月４日を応募締切にしますので、新曲を積極的に応募されるようお願いします。

日音協各支部、各労組音協、各サークル、会員の積極的な応募を要請いたします。

１　対　象

⑴ 歌詩のついた音楽とし、詩だけ、曲だけの応募は受け付けません。みんなでうたえる歌、というような限定はしません。

⑵ 2022年までのはたらくものの音楽祭またははたらくもののインターネット音楽祭ですでに演奏されたことのある曲は対象にしません。

⑶ 詩または曲の作者である日音協会員が応募することとして、会員ひとり２曲までとします。

⑷ 日音協会員以外の人がつくった作品の場合、日音協支部の推薦が必要です。１支部につき２曲までとします。

２　応募方法　⑴⑵のいずれかとします。⑴⑵のふたつを提出された場合には、どちらが応募作品か事務局から確認をお願いすることになります。

⑴ 歌詩つきの楽譜

日本音楽協議会事務所に送るか、６月３日、４日に第54回はたらくものの音楽祭の受付に提出してください。

⑵ 音源または音源つき動画

ＤＶＤ、ＣＤ、カセットテープなどの媒体か、電子ファイル（ダウンロード先ＵＲＬを指定する方法がおすすめです）として、日本音楽協議会事務所に送るか、６月３日、４日に第54回はたらくものの音楽祭の受付に提出してください。

３　締切り　2023年６月４日（日）13：00

４　応募曲と選考委員会推薦曲の公表

⑴ 応募曲はすべて楽譜集にして『音楽運動』号外の形で、日音協会員と機関紙読者にお届けします。

⑵ 応募曲の中から、選考委員会で全国に広めたいうたを選考し推薦曲とします。日音協第60回定期総会で披露し、日音協機関紙『音楽運動』に楽譜を掲載するとともに、2024年の第55回はたらくものの音楽祭で演奏していただきます。

５　応募作品等の提出先

日本音楽協議会
〒101-0061
東京都千代田区三崎町３丁目10-15
富士ビル505号室
ファックス　03-6369-3057
インターネットメール nichion@yomogi.or.jp

■日音協のメール受信サーバーは割り当て容量が小さいので、動画データファイルや音声データファイルは、メール添付ファイルでなく、データ便などダウンロード先ＵＲＬを指定する方法としてください。

■データ便　https://www.datadeliver.net

または６月３日、４日に第54回はたらくものの音楽祭（新潟県長岡市：長岡リリックホールシアター）受付にお持ちください。

久しぶりの声合わせ

４月29日～30日、岩手県の矢巾町公民館において、東北北合同（青森・秋田・岩手）の練習会を開催しました。常任指揮者の天羽憲治さんを迎え、「物語」の四部合唱と「たずねておいで」を練習しました。出来栄えやいかに！　（佐藤康弘）

歌の力が物語るもの117

茱萸坂うた行動 4／14（472回）報告

Rico

【参加者】はしゆきさん、えるもくん、モリヤさん、イサさん、佐藤さん、達哉、コミネッチ、森、　計8名

茱萸坂うた行動は18時半開始。国会議事堂はライトアップされているが、あたりはまだ明るい。はしゆきさんとえるもくんは早々に準備を整え、ケーナとリコーダーでアンサンブルを始めていた。次々に仲間が到着し、今日は最初から賑やかな茱萸坂である。

『あたりまえの地球』『風車の唄』『あなたに届けと』『私たちの暮らしは私たちが決める』『明日を殺すな』『前へ』…。楽譜をめくりながら、次々に歌っていく。佐藤さんがトランペットを片手に歌っている。いつも楽器の多彩さに注目してしまうが、とてもいい朗々とした歌声。

『そんな世界が一番』の中に、「この国の進む道　決めるのは私たち　子どもの明るい未来を　妨げるものいらない」という歌詞がある。いま選挙戦真っ只中。地方自治とはいえ、考え方のベースに原発推進があったり軍備増強肯定があったりする人は、結局人権とか弱い立場を切り捨てていく。そしてそういう国政を支えていく。

『水に流すな』を歌う。他国のミサイルが領海近くに落ちたと言って非難するくせに、境目のない海に汚染水を流そうとする。そういえば、湾内に流れ出た汚染地下水について、「汚染された水はエリア外には出て行かない。コントロールされている」とか言った人がいたっけ。本当に歌詞のとおりだ。「私は恥ずかしい」。

「規制」委員会所管の法律も、「推進」したいエネルギー庁が改定条文を書いていたという報道があった。原発政策ブレーキ無しか。黙っていてはブレーキどころかアクセル全開にされる。まだまだ茱萸坂は続けなければ。私たちは反対していることを示し続けよう。『前へ』の歌詞にある通り、「あきらめないぞ　原発なくすまで！」

今日の最後は『声よ集まれ歌となれ』「踏まれても繰り返し立ち上がる　君と一緒なら闘える」。歌はいつも、歌う私自身に力をくれるよなあ。

声よ集まれ 歌となれ

詩・曲＝李英哲

どれだけ叫べばいいのだろう
奪われ続けた声がある
聞こえるかい聞いているかい
怒りが今また声となる
ソリヨモヨラ　ノレヨオノラ
声よ集まれ歌となれ
トンムヨモヨラ　ノレプルジャ
声を合わせよう　ともに歌おう

気づかないふりに傷ついて
かすれる叫びは　あてどなく
それでも誰かと歌いたいんだ
一人の声では届かない　だから
ソリヨモヨラ　ノレヨオノラ
震える声でも歌となる
トンムヨモヨラ　ノレプルジャ
声を合わせよう　ともに歌おう
ソリヨモヨラ　ノレヨオノラ
ただ当たり前に生きたいんだ
トンムヨモヨラ　ノレプルジャ
声を合わせよう　ともに歌おう

今すぐその足をどけてくれ
サイサの怒りが蘇る
踏まれても繰り返し立ち上がる
君と一緒ならたたかえる　だから
ソリヨモヨラ　ノレヨオノラ
声よ集まれ歌となれ
トンムヨモヨラ　ノレプルジャ
声を合わせよう　ともに歌おう
ソリヨモヨラ　ノレヨオノラ
声よ集まれ響き渡れ
トンムヨモヨラ　ノレプルジャ
声を合わせよう　ともに歌おう
声を合わせよう　ともに歌おう

水道橋だより

▼あわただしい4月だった。3月から県議選があり、4月23日投票の市議選に関わった。全国的にも日音協と関わりのある当選者が多数いると聞く。▼4月28日には青森市で県支部の例会があり、長岡音楽祭の発表曲の練習もした。まだまだ練習が足りん、との指摘。まったくその通り。▼4月29～30日は、GWで人気の盛岡の隣町で東北北合同の練習会。ホテルも混んでいた。朝食は時間指定であった。▼で、今、新聞を編集中。5月1日になってしまった。配信が遅れて申し訳ありません。▼そうそう、天羽さんが芝居公演をします。5月12日、13日、14日、西武新宿線・下落合駅近くの「TACCS 1179」です。前売3000円、当日3500円です。詳細は、天羽さん（090-3470-3527）へ。▼「面従腹背の会」（代表責任者：天羽憲治）第1回公演は、『蝶が羽を閉じるとき』。ロベール・デスノス「テレージェンシュタット収容所からの手紙」。作・演出 杉浦久幸。照明・舞台監督 常盤数行。音楽 天羽憲治。▼まだまだ精力的に歌い、行動している天羽さんです。（佐藤）

どん行

（166）

飯島貞親

▼国会の衆参憲法審査会が大きく揺れている。衆参両院の選挙で自民・公明・維新・国民などの改憲派が3分の2以上の議席を占めたことから勢いづき、「憲法審査会を毎定例日に開催せよ」と主張し、22年の通常国会では慣例を破ってほとんど毎週開会、15回の実質審議がなされ臨時国会では6回の審議が行われた。これに対して参議院は通常国会で実質審議6回、臨時国会2回であり衆院に比べると3分の1程度の開催回数だ。▼小西弘之参院議員の「サル発言」をめぐって、改憲各派は猛反発。小西氏は野党筆頭幹事を解任させられた。しかし、小西発言は現状の衆参憲法審査会の問題点を的確に指摘している。参考人の発言すら慎重に検討するいとまがないほどに毎週毎週会議を開き、改憲の結論ありきの会議に終始している。実態はサルにも劣るのだが、この発言を境に放送法の行政文書を「ねつ造」と決めつけた高市早苗氏の辞職にまで発展しようとした騒ぎはすっかり静まってしまった。▼最近の憲法審査会は強引かつ独善的な議論と運営が拡大し合意形成の機運が乏しくなっており、建設的な合意形成に絶望しているとの指摘があり、「こんなやり方で改憲を発議すれば国民投票で否決される」との批判がある。